

新たな農業・農村の創造に関する 技術シンポジウム

日時 2013年12月12日(木) 11:00～16:00

場所 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール(仙台市)

参加申込 11月29日(金)までに事前申込(下記参照)

入場無料

本シンポジウムは、被災地域の農業・農村の再生・復興に資するとともに、安定的な食料の確保と強靱な国土の形成を実現する地域整備技術を全国へ発信するため、農業生産基盤の整備から管理・保全までの新技術の体系を提案し普及を図ることを目的として開催します。

本シンポジウムは、「2014みやぎの農業農村復興シンポジウム」(宮城県主催、2014年2月6日)のプレイベントです。

プログラム

11:00～11:20 主催者挨拶 小泉 健 (農研機構農村工学研究所 所長)
後援者挨拶 谷 公一 (復興副大臣)
佐々木 康雄 (東北農政局長)
山田 義輝 (宮城県農林水産部長)

11:20～12:00 基調講演
食と農を取り巻く環境の大変動と日本農業再構築の課題
—土地利用型農業の構造変革に向けて—
盛田 清秀 (東北大学大学院農学研究科 教授)

13:10～14:50 講演
(1)被災した農地の大規模利用計画の考え方
郷古 雅春 (宮城県農林水産部 農地復興推進室長)
(2)大規模土地利用型農業のための水管理技術
樽屋 啓之 (農研機構農村工学研究所 水利工学研究領域 上席研究員)
(3)日本型施設農業における新技術
佐瀬 勘紀 (日本大学生物資源科学部 教授)
(4)ルーメンハイブリッド型メタン発酵システムによるスマートビレヅ構築
中井 裕 (東北大学大学院農学研究科 教授)
(5)被災地の再生・発展に向けた6次産業化の課題
伊藤 房雄 (東北大学大学院農学研究科 教授)

15:00～15:50 パネルディスカッション
コーディネーター 奥島 修二 (農研機構農村工学研究所 技術移転センター長)
パネラー 小林 厚司 (東北農政局 整備部長)
勝又 俊博 (水土里ネット河南矢本 事業課 課長)
安部 俊郎 (有限会社 アグリードなるせ 代表取締役社長)
基調講演者及び講演者

15:50～16:00 閉会挨拶 駒井 三千夫 (東北大学大学院農学研究科長・農学部長)

参加申込について

申込方法: 農研機構農村工学研究所Webサイト (<http://www.naro.affrc.go.jp/nkk>) のお知らせから「新たな農業・農村の創造に関する技術シンポジウム」をクリックし、申込様式をダウンロードの上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

E-mail: nkk-unei@ml.affrc.go.jp FAX:029-838-7609

申込締切: 2013年11月29日(金) ※定員になり次第締切とさせていただきます。
問合せ先: 農研機構農村工学研究所 企画管理部 業務推進室 運営チーム

TEL:029-838-7678



農業農村工学会
技術者継続教育機構CPD申請

会場へのアクセス

バス:

- ・ 仙台駅前9番のりば「宮教大・青葉台行」または「青葉通經由動物公園循環」乗車(約15分)、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」下車、徒歩3分
- ・ 仙台駅前16番のりば「広瀬通經由交通公園・川内(宮)行」または「広瀬通經由交通公園循環」乗車(約15分)、「川内郵便局前」下車、徒歩7分

タクシー: 仙台駅から約10分、仙台空港から約40分
徒歩: 地下鉄広瀬通駅から約25分、仙台駅から約40分



主催: (独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所
東北大学大学院農学研究科



後援: 復興庁宮城復興局、東北農政局、宮城県、公益財団法人翠生農学振興会